

「利根運河フットパスウォーキング」

野田市コース（江川地区～利根運河土手）

2014/9/28（日）9時～12時

主催：利根運河協議会



9月28日、利根運河協議会と野田市の連携により利根運河フットパスウォーキングが行われました。

天候にも恵まれ、18名の参加者が利根運河に隣接する江川地区の生き物を観察しながらウォーキングを楽しみました。

参加者は最初に野田市のコウノトリ飼育施設「こうのとり」に集合し、野鳥・野草の2コースに分かれて江川地区を歩き、最後に「こうのとり」を見学しました。



野鳥コース

ガイド：田中勝美さん

野田自然保護連合会代表

江川地区は、多くの野鳥のすみかになっているほか、秋になるとワシ・タカ類が30羽ほどの集団で渡る姿を見ることができます。野鳥コースでは、そうした「タカの渡り」が見られることも期待しながら、11名の参加者が様々な野鳥を観察しました。

参加者のみなさんは、田中さんの解説を聞きながら双眼鏡や田中さん持参のフィールドスコープを覗き込み、畦道で羽を休めるアオサギや、ゆったりと江川を泳ぐカルガモなどを観察しました。

元々鳥に興味のある参加者の方も多く、みなさんここぞとばかりに田中さんに質問されていました。



野草コース

ガイド：岩槻秀明さん

野田自然保護連合会幹事



7名の参加者が江川地区を中心に、タコノアシなどの貴重な植物や、水田や畦道などの環境に特徴的な植物を観察しました。

約2時間の間に60種余の植物を紹介していただき、カナムグラやショウブなどは実際に触ったり匂いを嗅いだりして形態・生態の不思議を楽しみました。

また、キタキチョウやイナゴ類などの昆虫、それを食べるナガコガネグモなどのクモ類も多く見られ、江川地区が育む生態系の豊かさを体感しました。





カルガモの親子



アオサギ

ウォーキング中、16種類の野鳥を観察することができました(野鳥コース)



ガマの穂をほぐすと出てくる綿毛で遊びました(野草コース)



利根運河上空には猛禽類のサシバの姿が数羽見られました。この時期の運河土手は絶好の「タカの渡り」観察スポットだそうです。(野鳥コース)



畦道には「ねこじゃらし」の名で親しまれているエノコログサが多く生えており、毛の色などによって名前が違うこと、アワの原種であり、あぶって食べられること、等を教わりました(野草コース)



ウォーキング後は「こうのとりの里」で、野田市が飼育している6羽のコウノトリを見学しました。

またこの日は、江川地区の維持管理を行っている「(株)野田自然共生ファーム」の収穫祭が開かれており、大勢の人で賑わっていました。

参加者からの感想・意見 (アンケート結果より)

今回のウォーキングについて多くの方が「満足」または「やや満足」と回答されました。自由回答では「自然な景色、環境が良い」「こうのとりがこんなにも大きいものとは思わなかった。多く繁殖してほしい」などの感想をいただきました。ウォーキングイベントについては「楽しく参加できました」などの感想や、「春にも実施してほしい」などのご要望もいただきました。アンケートの結果は今後のフットパス整備やイベント企画の参考にさせていただきます。

利根運河協議会では11月7日(金)にも流山市でフットパスウォーキングイベントを開催する予定です。今後も多くの方に利根運河の魅力を知っていただくためのイベント企画を行ってまいります。

利根運河協議会について

利根運河協議会の活動等について詳しく知りたい方は、利根運河エコパークホームページをご覧ください。

<<http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/edogawa00183.html>>

